

組織現勢 (10月1日現在)

組合員数 19,170人  
出資口数 163,382口  
8・9月の新規加入 20人  
8・9月の増資口数 449口

No. 457



発行所  
**城南保健生活協同組合**  
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101  
TEL (3762) 0266  
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店  
口座 (普) 0469459  
発行 「城南の保健」編集委員会  
年6回発行・定価1部 30円

## 健康づくりを行っている城南保健生協は 「平和でなければ健康はあり得ない」を合い言葉に、 さまざまな平和活動を行っています。

### 原水爆禁止2025世界大会 長崎大会 (8月7・9日)に参加して 城南保健生協 介護部長・下川 卓

今回原水爆禁止世界大会に初参加しました。

1日目無事会場に着き、各地域から大勢の参加者を目の当たりにし、規模の大きさを感じました。開会のあいさつ後、田中重光さんの講演を聞き、被爆者の方の話を生で聞くことができました。

2日目は分科会後、自由に遺構巡りや資料館に行く時間があるとの事で、どうしたら世界大会に参加した意味を見出せるかを考えました。

結論としては、あまり深く考えず、時間を一杯使いたい、なるべく色々な遺構や資料館等を訪れ、自分が何をどう感じるかを楽しみに2日目を迎えました。

分科会後、遺構巡り開始。路面電車を使いながら、まず平和公園を訪れました。様々なモニュメントがあり、特に平和の銅像は圧巻、親子連れや外国の方も多く訪れていました。

戦争とはかけ離れた綺麗な景色で、平和への願いの象徴的な場所だと感じました。

その後、原爆資料館、浦上天主堂、防空壕のある山里小学校を訪れました。山里小学校の防空壕は小

学校の裏手にあり、学校で元気に笑っている小学生の声を聞きながら、防空壕での当時の様子を想像したりして、平和な今と、戦争時代の悲惨さを対比させていました。

最終日3日目、ナガサキデー集会では、世界各国の方や、若い学生の方も参加していました。

被爆者の方は高齢化を迎え、10年後はおそらく生で被爆者の声を聞くことが出来なくなっています。その中でどう後世に戦争の悲惨さ、平和の大事さを伝えるか、をこの3日間考えてい

ました。

被爆者の声が聞けなくとも、映像や資料を見て学び、平和や戦争の悲惨さについて考える、そんな機会を皆が持つことで、きっと平和を維持することができると思います。

ナガサキデー集会後会場の外で、大きな声で必死で募金を呼び掛けている、高校生姿を見て、確実に平和への思いは受け継がれていると感じました。

そんな思いの輪を広げていくことが、必要だと思います。



原水爆禁止世界大会 大田代表団

### ゆたかの家で、戦後80年城南空襲についての学習会を行いました

8月29日(金)に開催し、22名の参加でした。

城南空襲では、荏原区の7割が焼失し3月10日の東京大空襲を上回る規模でした。戦後80年にもなると生存者が少なくなる中で、ストレッチャ体操に来ていた西下香代子さんが幼い頃に城南大空襲を体験された事が、東京新聞に載っていたのと、地元の人にはあまり知られていないのもあって、学習会を開催することになりました。

会では、品川区にも「モニュメント」と「碑」をつくろうと賛同者を集めています(大田区、港区にはありません)。

区議会にも請願書を出しています。二度と戦争をしないためにも過去の歴史を伝えていくことは大事ではないでしょうか。(小滝文子)



熱心な交流が行われました

「城南空襲を語り継ぐ会」のDVDを観て、西下さんの話と、親から空襲の話が聞かされた話を聞き、空襲の恐ろしさを身近に感じられ、戦争にならないようにしなければと思いました。

「城南空襲を語り継ぐ

### 宿題外来(無料塾)では、「昔日本は戦争をしていたんだよ」の話

宿題外来では毎年夏休み特別授業を行っています。

今年は、「俳句体験」「ちぎり絵」の他、「昔日本は戦争をしていたんだよ」の話を行いました。

事前に、「しあわせって感じる時アンケート」を行い発表しました。

当日は、第二次世界大戦の概要をわかりやすくお話

し、戦争体験者の方にも来ていただき、お話を伺い、紙芝居(かわいそうなソウ)を観たり、みんなで「ぞうれつしやよ走れ」を歌いました。

最後は、子ども達から、さまざまな感想が出され、充実した取り組みになったと思います。



紙芝居の様子